

# 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 教育庁

所属名 生涯学習・文化財課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
社会教育関係団体活性化事業	1子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和3年度	令和8年度	1,730	-			1,730	縮減
こども歴史文化館魅力向上事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	2,698	-			2,698	継続
文化財指定促進事業	12-2 文化芸術の次世代育成と保存・継承・活用	政策的経費	平成26年度	令和11年度	8,658	-	2,832		5,826	継続
福井の文化財緊急修理事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成27年度	—	71,712	-			71,712	継続
福井の文化財を未来へプロジェクト	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	11,506	-			11,506	整理統合
埋蔵文化財調査センター収蔵庫建築事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和8年度	100,836	-		100,000	836	継続
㊦考古学サイエンス探究事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	1,483	-	393	55	1,035	—
子どもの読書活動推進事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成15年度	令和11年度	4,196	-	405		3,791	継続
白川文字学普及活動事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成17年度	令和10年度	913	-			913	継続
県立図書館書架増設事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成14年度	令和13年度	50,409	-	32,765		17,644	継続
福井県立図書館電子書籍サービス事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	—	5,280	-			5,280	継続
ふくいの自然・宿泊体験による子どもたちの交流事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和6年度	令和8年度	5,692	-		3,500	2,192	継続
㊦アウトドア教育推進事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和8年度	令和11年度	9,898	-			9,898	—
文化財継承基盤整備事業	1子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和7年度		-				整理統合
					275,011		36,395	103,555	135,061	

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和3年度
社会教育関係団体活性化事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	<p>県域で活動する社会教育関係団体（以下、「団体」という。）が公民館等と連携して、子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民にSDGs達成に向けた多様な教育の提供を支援し、団体活動が活性化することにより、地域の社会教育を促進する。</p>				
事業内容	<p>（1）社会教育関係団体がSDGsの達成にむけた活動プログラムを作成  （2）社会教育関係団体の活動プログラムをリスト化し、市町・公民館等に事業を周知  （3）県は、公民館等と社会教育関係団体が連携して行った場合、参加人数に応じて活動支援費を社会教育関係団体に支給  （4）団体、市町担当者、公民館関係職員（社会教育士を含む）等による「団体活動報告会・情報交換会」を開催（年度末）</p> <p>&lt;活動支援費（活動費の1/2）&gt;  参加者（人） 活動支援費（千円）  ① 1～19 60  ② 20～39 75  ③ 40～ 90</p>				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,730				1,730
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	団体会員数指数	46.1P	46.5P	令和6年度
	活動指標	活動数	27件	28件	令和7年度
事業評価	<p>本事業は、社会教育関係団体の活動支援を通じて、会員数の減少抑制と活動の活性化を図ることを目的として実施した。成果指標である会員数指数については、基準となる平成21年度の会員数指数を100ポイントとした際、目標値46.1ポイントに対し46.5ポイントとなり、目標を上回る水準で減少を抑制することができた。また、活動指標である申請件数についても、目標27件に対し28件と上回り、団体の事業実施意欲の維持・向上につながった。引き続き、各団体の実情に応じた支援を行い、持続的な活動基盤の強化を図る必要がある。</p>				
区分	縮減				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす(人材力)				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和4年度
こども歴史文化館魅力向上事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	小中学生などの来館者が楽しみながら学ぶことができるよう、展示エリアの設備更新を行うことにより、こども歴史文化館の魅力向上を図る。 令和11年度(開館20周年)の利用者8万人をめざし、周年事業、他館との連携事業、広報事業を計画的に行い、こども歴史文化館の利用促進を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他館との連携事業 当館の利用促進を図るため、他館と連携し、当館展示に関連した複数の博物館等を巡り、当館ならではの見学、体験を行うバスツアーの企画、実施。</li> <li>・展示資料の拡充・参加型展示活用 当館の利用促進を図るため、新たに参加型展示コーナーの設置及び体験用複製制作を企画、実施。北海道移住者旧蔵の石仏の調査、寄贈受入れ後に「北海道移住」コーナーを新設。参加・体験(石仏[複製]の重さ体験、現地背景パネルの前で撮影等)の手法を導入する。</li> </ul>				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,698				2,698
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	利用者数	63,000人		令和7年度
	活動指標	学校団体(小中)受入数	65団体		令和7年度
事業評価	令和7年度は本事業で「これき達人バスツアー」を実施した。当館、達人のひろばで紹介している達人や企業について、展示会場で解説したうえで、ものづくりの現場を訪れた。展示とともに、現地で歴史や技術に触れながらの見学、体験を通し、参加者は楽しみながら本県の文化や産業を学ぶことができた。 <事業実績> ・バスツアー実施回数1回、参加者18名 ・令和7年度成果指標および活動指標は、令和8年4月頃に確定予定				
区分	継続				

	教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度	
12 文化芸術・スポーツ力の強化			経費区分	政策的経費	
12-2 文化芸術の次世代育成と保存・継承・活用			事業開始年度	平成26年度	
文化財指定促進事業			事業終了年度	令和 11年度	
事業目的	県内にある未指定の文化財の掘り起こしと価値づけを行うとともに、県民の財産である文化財を保存し、学校教育や観光への活用を図るため、国指定等に向けた調査を推進する。				
事業内容	○指定候補文化財の調査 ・井田家旧蔵古写真 ・大瀧神社建造物 等 ○文化財調査特別顧問の配置				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,658		2,832		5,826
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	文化財の新規国・県指定件数	10	8	令和7年度
	活動指標	文化財調査件数	27	31	令和7年度
事業評価	活動指標の調査件数については、目標達成。一方、成果指標の新規県指定については、目標未達。 (事業による要因) 調査に想定以上の時間を要し、指定に至っていない文化財があるため。				
区分	継続				

	教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化			事業開始年度	平成27年度	
福井の文化財緊急修理事業			事業終了年度	—	
事業目的	歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力を発信する手段として活用する。				
事業内容	重要文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援 ・旧瓜生家住宅 解体工事等 ・丸岡城天守 耐震補強工事、屋根工事等 ・大滝神社本殿及び拝殿 屋根葺替工事 ・大安寺 庫裏・開山堂・開基堂・宝蔵工事 ・西福寺 御影堂・庫裏工事				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	71,712				71,712
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	緊急修理が必要な文化財総数 に対する補助による修理割合	100%	100%	令和7年度
	活動指標	補助金の交付件数	3件	3件	令和7年度
事業評価	旧瓜生家住宅、丸岡城天守、大滝神社本殿及び拝殿の修理費用を補助することで、緊急修理が必要な文化財の着実な工事実施に寄与することができた。				
区分	継続				

	教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化			事業開始年度	令和5年度	
福井の文化財を未来へプロジェクト			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	文化財修理にかかる所有者の負担軽減や県内技術者育成等の課題を解決し、修理事業による効果の県内還元・地域活性化を目指す。				
事業内容	<p>（1）文化財の情報発信（地域おこし協力隊）          県内に所在する文化財の情報や魅力を県内外に広く発信し、文化財に対する興味関心の醸成を図るとともに、文化財所有者が実施するクラウドファンディングによる資金調達の支援を行うため、文化財魅力発信コーディネーター（地域おこし協力隊）を活用する。</p> <p>（2）技術者育成、県産品にかかる研修会等開催          文化財修理現場にて技術者育成のための研修会を行うとともに、県産品の生産および活用のための研修会を開催する。</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,506				11,506
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	重文等修理に携わる県内中核技術者（人）	16	13	令和7年度
	活動指標	修理現場での研修会開催（回）	5	5	令和7年度
事業評価	適切な文化財修理の実施、情報発信支援、修理現場研修会、茅研修会、デジタルアートの各種事業を計画通り実施した。 修理現場研修会は目標の回数は達成できたが、修理に携わる中核技術者の人数については、文化財修理の経験が必要で時間を要するため、目標に届かなかった。				
区分	整理統合				

	教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化			事業開始年度	令和7年度	
埋蔵文化財調査センター収蔵庫建築事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	埋蔵文化財調査センターにおける埋蔵文化財の保管場所を確保し、埋蔵文化財の遺物整理作業等の円滑な実施および埋蔵文化財の活用を目的とする。				
事業内容	(1) 収蔵庫の建築 ・埋蔵文化財調査センターの敷地内に新たな収蔵庫（軽量鉄骨造のプレハブ）を建築				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	100,836			100,000	836
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	建築設計	—	—	令和7年度
	活動指標	建築設計	—	—	令和7年度
事業評価	令和8年度から開始する収蔵庫建築工事のための設計を完了することができた。				
区分	継続				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和8年度
⑧ 考古学サイエンス探究事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	小学生から高校生を対象として、サイエンスの要素を加えた埋蔵文化財に触れる機会を提供するとともに、ドローン等を活用した遺跡・発掘調査現場等の考古学に関する学習用素材の情報発信および専門家が伴走しながら学習を行う探究支援事業等により、ふるさと福井の愛着度を高めるとともに、考古学に興味・関心のある人材を育成することを目的とする。				
事業内容	(1)ふるさと教育の普及事業 (2)考古学に関する教育プログラムの充実と情報発信事業 （歴史や科学に興味がある児童・生徒対象） (3)専門家の育成事業 （歴史や考古学を探究したい小学高学年～高校生の児童・生徒対象）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,483		393	55	1,035
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	講座・出前授業等の参加者数	150人	—	令和8年度
	活動指標	講座・出前授業等の開催数	15回	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	平成15年度
子どもの読書活動推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりのために、家庭、地域、学校において子どもの読書活動を推進する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福井県子どもの読書活動推進会議の開催</li> <li>○子ども読書地域人材（学校図書館サポーター、読み聞かせの担い手）を育成</li> <li>○同年代に読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を養成</li> <li>○教職員や読み聞かせボランティア向けの研修会を開催</li> <li>○幼稚園・保育園・こども園での読書活動を応援</li> <li>○特別支援学校への読書支援</li> <li>○成長段階に応じ選定した推奨図書の普及啓発 等</li> </ul>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,196		405		3,791
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	講座等の参加者	325	614	令和7年度
	活動指標	講座等の開催回数	20	26	令和7年度
事業評価	<p>対面からオンラインに切り替えたことで参加人数が増えた研修もあり、成果指標、活動指標ともに目標を達成できた。（2月末時点、実績確定は令和8年3月）</p> <p>〈事業実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館サポーター養成講座修了生25名</li> <li>・読み聞かせ担い手養成講座修了生21名</li> <li>・ジュニア司書認定57名</li> <li>・教職員向け研修63名</li> <li>・保育士向け絵本研修200名 等</li> </ul>				
区分	継続				

	教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
1 2	文化芸術・スポーツ力の強化		事業開始年度	平成17年度	
	白川文字学普及活動事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	白川静博士が平成16年度に文化勲章を受章されたことを機に平成17年度より推進してきた本事業は、令和 6 年度で20年を迎えた。これまでは学校教育を中心に推進を図ってきたが、今後は、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供する。				
事業内容	「白川静漢字教育賞」の開催 全国から応募のあった漢字教育の実践や児童生徒の作品のうち、優秀事例や優秀作品を表彰するとともに、全国へ発信することにより、漢字教育の発展を図る。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	913				913
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	漢字教育賞への応募数	500	1393	令和7年度
	活動指標	イベントの定員充足率	100.00%	100.00%	令和7年度
事業評価	部門の見直しを行ったことや越前市の協賛による配布用の越前和紙を確保できたことにより、応募者増加につながり、成果指標を達成できた。 参加者のニーズを踏まえた魅力的なイベントを企画・実施した結果、参加者数の増加につながり、活動指標を達成できた。				
区分	継続				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす(人材力)				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	平成14年度
県立図書館書架増設事業				事業終了年度	令和13年度
事業目的	190万冊(内、閉架書庫160万冊)の書籍を収容できる施設として開館した県立図書館であり、閉架書庫において96万冊分を収容できる書架は整備済みであるが、約64万冊を収容する書架が未整備となっている。令和8年度には書庫充填率が100%を超える見込みであり、書架増設整備が必要となる。				
事業内容	・電動式集密書架の増設(令和6年度~令和13年度までの計8か年で353千冊増設) 令和8年度実施分 図書館書庫4階Lエリア奥(51千冊収納可能)				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	50,409		32,765		17,644
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	書庫充填率	96%	96%	令和7年度
	活動指標	設置書架数	30千冊	30千冊	令和7年度
事業評価	成果指標および活動指標ともに目標達成した。次年度以降も引き続き書架の整備を行う。				
区分	継続				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす(人材力)				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和7年度
福井県立図書館電子書籍サービス事業				事業終了年度	—
事業目的	県立図書館に電子書籍を導入することにより、図書館から遠く来館できない方、学生など交通手段が限られる方、仕事などの都合で開館時間に利用できない方、紙の書籍を読むことにハンディのある方、母語が日本語でない方など、誰でも、いつでも、どこでも、知りたい、学びたい情報に出会うことのできる環境を整備し、読書バリアフリーを推進する。				
事業内容	閲覧型電子書籍サービス「Kinoden」(紀伊國屋書店学術電子図書館)の追加購入				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,280				5,280
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	利用者満足度	3.0	—	令和7年度
	活動指標	電子書籍整備数	10,000点	9,866点	令和7年度
事業評価	令和7年7月からサービスを開始し、高校や大学、公立図書館などでの体験会も多数実施したことで、平均閲覧件数は全国平均の約22倍(R8.1時点)となっており、本県の読書バリアフリーの推進に寄与できたと考える。 <事業実績> ・月平均閲覧件数 4,700件 ・電子書籍体験会 県内24カ所で実施 ・令和7年度の利用者満足度は、令和8年3月頃に確定予定(5段階評価満足度の平均)				
区分	継続				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和6年度
ふくいの自然・宿泊体験による子どもたちの交流事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	福井県に興味のある子どもたちを対象に、青少年教育施設を拠点とした福井県の魅力を県内の子どもたちと共に体験する宿泊プログラムを提供することにより、福井県のすばらしさを体感してもらう機会とする。				
事業内容	(1) 県内および県外の子どもの対象に、青少年教育施設を拠点とした宿泊プログラムを4泊5日もしくは3泊4日で提供 ① 青少年教育施設での自然体験プログラム ② 県内観光地の見学 (2) 受入体制の準備および広報 ① 教育ボランティアの育成研修の開催 ② 東京事務所等との連携による県外での広報				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,692			3,500	2,192
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	アンケートでの自主性や協調性を測る項目の肯定的評価の割合 (%)	92%	98%	
	活動指標	県内及び県外の参加児童数	130名	135名	
事業評価	・各施設の魅力あるプログラムの提供と教育ボランティアを育成し参加者へのサポートを充実させたことで成果目標を達成できた。 ・県外の姉妹都市関係にある市町の教育委員会および小学校にチラシの配布を依頼し、直接チラシが家庭に渡ったことで活動指標を達成できた。				
区分	継続				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和8年度
⑧ アウトドア教育推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	野外体験活動を通じて、子どもたちのたくましさや社会性を育てる「アウトドア教育」を推進するために、より専門性が高い自然体験の機会を創出する他、青少年教育施設の魅力を発信し、利用促進を図る。				
事業内容	(1) アウトドアプログラム体験応援事業（野外体験プログラムの民間委託） ①県立4施設で年間6回程度体系的な体験プログラムを1団体へ委託（一括委託） ②希望する施設において1団体あたり1回、体験プログラム実施を委託（個別委託、8回程度想定） (2) アウトドア体験推進コーディネーター活用事業（地域おこし協力隊を2名配置） ①新規体験プログラムの企画・運営 ②施設のSNSやHPでの情報発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,898				9,898
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	アンケートでの自主性・協調性・自己肯定感を測る項目の肯定的評価の割合 (%)	90%	—	令和 8年度
	活動指標	アウトドアプログラムへの参加者数	150名	—	令和 8年度
事業評価	—				
区分	—				

		教育庁	生涯学習・文化財課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和2年度
文化財継承基盤整備事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	有形文化財を中心とした、国・県指定文化財の保存環境等の状況調査を実施し、今後の文化財の保存・活用に生かすとともに、調査結果を学校教育等で活用することにより、文化財への保護意識の醸成に努め、次世代に継承していくための基盤を整備する。また、修理が必要な文化財の早期発見につなげる。				
事業内容	(1) 国・県指定文化財の所在確認等調査 ・所在場所、所有者（管理者）等の確認 ・文化財保存環境状況等の調査等 (2) 県指定文化財台帳の更新・デジタル化、国指定文化財台帳データベースの作成 (3) リニューアルホームページ「福井の文化財」の運用				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,106				1,106
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	指定文化財台帳の整備件数	—	—	R6整備済
	活動指標	国・県指定文化財調査件数	75件	8件	
事業評価	・調査件数について、担当委員の多忙化等により調査の日程調整に難航したため、調査目標件数を大幅に下回った。 今後は、別事業に整理統合する形で事業内容を継続する。また、一部調査対象については、大学の調査を呼び込み調査を実施中である。				
区分	整理統合				